信州大学　学術研究院　教育学系

研究業績目録

【全体に関わる留意事項】

※原則として書類等により証明可能な事実のみを記載する。

※記載欄に記載事項がない場合には空欄とする。

※著書・論文等の記載事項で不要な項目は適宜削除する。

Ⅰ．氏　　名

　　生年月日　　昭和・平成　　年　　月　（　　歳）

**現　　職**

**Ⅱ．経歴**

**１　学歴**（大学卒業時から記載）

昭和□年□月　　○○大学○○学部○○学科　卒業

平成□年□月　　○○大学大学院修士課程○○研究科入学

平成□年□月　　同　修了

平成□年□月　　○○大学大学院博士課程○○学研究科　入学

平成□年□月　　同　単位取得満期退学

**２　取得学位**（修士・博士の取得学位は全て記載）

修士（○○学）（○○大学，修一二三四号）平成□年□月

博士（○○学）（○○大学，博七八九号）平成□年□月

**３　職歴・その他**

平成□年□月　　○○大学○○学部　助教　（平成□年□月まで）

平成□年□月　　信州大学教育学部　准教授（平成26年３月まで）

平成□年□月　　信州大学大学院教育学研究科担当　合判定

平成26年４月　 信州大学学術研究院　准教授（教育学系）（現在に至る）

　　［非常勤の職歴］

　　［長期出張・長期研修等］

**４　賞罰・処分歴等**

平成　　年　　月　［内容］

・この欄には，前科及び懲戒処分歴を記載する。（研究上の受賞歴は別欄に記載。）

・前科及び懲戒処分歴がない場合は「なし」と記載。

**Ⅲ．学術等の業績**

**１　著書** □編

①[著者名],[執筆箇所],[編著者名], “[著書名] ”,[執筆ページ],[発行所],[発行年],[<貢献内容等>]

②[著者名],[執筆箇所],[編著者名], “[著書名] ”,[執筆ページ],[発行所],[発行年],[<貢献内容等>]

③[著者名],[執筆箇所],[編著者名], “[著書名] ”,[執筆ページ],[発行所],[発行年],[<貢献内容等>]

(例)信州花子・佐藤○○, 第７章「○○の研究」, 信州花子(編) 佐藤○○・田中○○・信州花子外15名, “□□の研究”, pp.100-120, □□出版, 2010年, <担当部分：△△△△>, ISBN: 4-1234-5678-9

(例)信州花子・〇〇太郎, “〇〇の探究”, <担当部分：序章 pp.1-10; ３章 pp.30-40; ５章～８章 pp.60-150>, 〇〇書房, 2010年, ISBN: 4-9876-5432-1

・著者名，執筆箇所，編著者名，著書名，執筆ページ，発行所，発行年，貢献内容等の情報が掲載されていれば，その情報の順序は本調書内で統一されていれば問わない。

・小・中・高等学校等の教科用図書（教科書）の作成・編集は「社会活動」として記載する。その成果物としての教科書は「著書」または「論文」として扱わずに「その他」に記載する。

**２　論文**□編

①[著者名]，“[論文題目]”，[雑誌名]，[巻号]，[ページ]，[発表年]，査読有/査読無

②[著者名]，“[論文題目]”，[雑誌名]，[巻号]，[ページ]，[発表年]，査読有/査読無

③[著者名]，“[論文題目]”，[雑誌名]，[巻号]，[ページ]，[発表年]，[<貢献内容等>],査読有/査読無

(例)○○太郎・○○正夫・○○みどり, “□□に及ぼす□□の効果の検証”, ○○学研究（日本□□学会）, 第□巻第□号, pp.30-40, 2010年, <担当部分：△△△△>, DOI: 12.3456/aa789, 査読有

(例)Shinhu, T., ○○, M., & ○○, M., “A study ･･･”, Journal of ･･･（Springer）, 3(2), pp.30-40, 2010年, <担当部分：△△△△>, DOI: 12.3456/aa789, 査読有

　その他の表記例示

※体育の競技業績の示し方（該当しない項目は削除）

　[競技大会名称],[団体・個人],[順位],[開催地],[実施年]

※演奏・指揮の示し方（該当しない項目は削除）

　[演奏者名]，[演奏形態・指揮]，“［演奏会名］”，[曲名]，[開催場所]，[開催年］

※美術作品の示し方（該当しない項目は削除）

(例) ○○ひかり, “月夜の水面”， 水彩画, □□cm×□□cm, □□美術館第一展示室, 〇〇展覧会, 2011年

※特許権・意匠権の示し方（該当しない項目は削除）

特許権　[特許権者]，[発明者]，[発明の名称]，[特許番号]，[登録日]

意匠権　[意匠権者]，[意匠の創作をした者]，[意匠に関わる物品]，[意匠番号]，[登録日]

(例) 国立大学法人信州大学, ○○太郎, ○○キーボード, 意匠登録第2018123号, 2015年１月15日

・著者名，論文題目，雑誌名，巻号，ページ，発表年，貢献内容等，査読有/査読無の情報が掲載されていれば，その情報の順序は本調書内で統一されていれば問わない。

・印刷中の場合，『発行年月』欄に「印刷中」と書き，『発表誌等』欄に掲載予定巻・号を書き，末尾に「／掲載証明あり」または「／採択通知あり」などと記載する。

※「論文に相当する業績」には，たとえば作品，演奏，競技歴，ソフトウェアの開発など，国際もしくは全国レベルの業績を記載することができる。作品，演奏，競技歴，ソフトウェアの開発などにおいて，地方レベルの業績は「その他」に記載する。

・演奏・作品等の場合，『単共の別』欄は「共同」「共作」「共演」等の語句を適宜用いる。

・演奏・作品等の場合，『備考』欄に当該業績を特定できる情報を記載する。

※ 特許権・意匠権等は，審査を経て権利化されたものは「論文に相当する業績」として記載できる。出願のみで審査を経ていない特許出願等や審査を要しない実用新案権等は，「その他」に記載する。なお，対象となる特許権・意匠権等と同内容の論文がある場合には論文を優先し，特許権・意匠権等は「その他」に記載する。

**３　報告**□編

①[著者名]，[執筆箇所],[編集者名],“[報告書名]”，[執筆ページ],[発行所],[発行年]

②[著者名]，[執筆箇所],[編集者名],“[報告書名]”，[執筆ページ],[発行所],[発行年]

(例)信州花子・○○みどり, 第４章「各教科における試作プログラムの実用化検証」, 研究代表者：○○太郎 研究分担者：△△△△・○○みどり・信州花子外□名, “平成21～23年度科学研究費補助金（基盤研究(C),課題番号246810）の研究成果報告書 実践型○○教育プログラムの開発”, pp.30-40, <担当部分: 信州花子は研究企画・実践に参画しデータ分析と全体執筆を担当>, 長野印刷, 2010年

・著者名，執筆箇所，編集者名，報告書名，執筆ページ，発行所，発行年の情報が掲載されていれば，その情報の順序は本調書内で統一されていれば問わない。

**４　学会発表**　■件

①[発表者名]，“[発表題目]”，[発表場所]，[発表年]

②[発表者名]，“[発表題目]”，[発表場所]，[発表年]

(例) 〇〇太郎・〇○みどり・信州花子, “日本と□□国における□□の比較研究”, □□学会第□回大会,2010年

・発表者名，発表題目，発表場所，発表年の情報が掲載されていれば，その情報の順序は本調書内で統一されていれば問わない。

**５　外部資金**　■件

(例) ○○太郎（信州大学）,　○○みどり・○○まさお・信州花子, 科学研究費補助金 基盤研究Ｂ 12345678，平成25年度～平成27年度，“長野県の自然を活かした高大接続教育プログラムの開発”

(例)信州花子, 松本市（長野県），平成27年度，“観光振興アンケートの制作と実施・分析”

**６　研究上の受賞歴**

○○学研究奨励賞（平成□年□月，日本○○学会）

**７　その他**　■件

**Ⅳ．学会活動**

日本○○学会会員（平成□年□月～現在）

日本○○学会理事（平成□年□月～現在）

日本○○学会『○○学研究』編集委員（平成□年□月～平成□年□月）